第１号議案（1）

2018年度事業報告

1. 会議

主要な会議である総会，諮問会，理事会，運営審議会および賞選考関連会議は以下のとおり実施した．

1.1 総　会

第 46 回定時社員総会を 2018 年 5 月 31 日(木)に大阪で開催した．主要な議案は，2017 年度事業報告と収支決算報告，2018 年度事業計画と事業予算についてである．

1.2 諮問会

第 7 回諮問会を平成 30 年 4 月 26 日(木)に横浜で開催した．諮問会の主要な審議事項は，上記総会に提出する議案について報告し，幅広く意見を伺った．

1.3 理事会および運営審議会

理事会を 3 回（第 112～114 回），運営審議会を 2 回（第 23，24 回）開催し，総会および諮問会への提出議案の作成，各事業の充実，財政基盤の強化等について審議した．

1.4 賞選考委員会

第 23 回賞選考委員会を 4 月 17 日の第 112 回理事会前に開催した．賞選考委員会において第 42 回レーザー学会業績賞（論文賞，進歩賞）及び奨励賞を審議した．学術講演会第 38 回年次大会の論文発表賞については年次大会実行委員会が選考を行い，結果を賞選考委員会に報告した．賞選考委員会は以上の選考結果を審議し，第 112 回理事会及び第 7 回諮問会に報告した．

また，フェロー制度，上級会員制度に基づき，昨年度応募のあった候補選考を第 112 回理事会開催前に第 4 回称号審査委員会にて行った．第 10 回産業賞選考委員会を 2 月 13 日に開催し，優秀賞，奨励賞及び貢献賞の選考を行った．第 39 回年次大会の論文発表賞については，2 月 19 日に受賞が通知された．

2. 事業，行事

実施した事業，行事は以下のとおりである．

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「レーザー研究」を年 12 冊（第 46 巻 4～12 号および第 47 巻 1～3 号），毎月中旬に発行した．このため，編集委員会を 12 回（第 457～468 回）開催し，企画編集，進捗フォロー，次号ゲラ刷りのチェック等を実施した．開催日は毎月中旬とし，原則として東京と大阪で交互に開催した．

2.2 研究委員会および研究会

研究委員会を 4 回（第 238～241 回），研究会を 13 回（第 519～531 回）開催した．研究会については単独開催研究会を 10 回，他学会との共催研究会を 3 回開催した．単独開催の研究会では資料「研究会報告」を作成し，研究会当日に参加者に販売するとともに，年間購入予約者に頒布した．

研究会開催にあたっては，アピール箇所が会員以外の一般にもわかるよう工夫してもらい，参加者数の拡大に努めた．

2.3 技術専門委員会

技術専門委員会を 18 件（継続 12 件，新規 6 件）を実施した．うち 3 件が今年度末で活動を終えた．
学会 HP 上に各委員会の活動目的を示し，会員および会員以外の一般にも活動が見えるようにし，学会内コミュニティ形成のための基盤作りに努めた．

2.4 学術講演会年次大会

第 39 回大会は，併設展示会”Laser Solutions 2019”と併せ，2019 年 1 月 12 日～14 日に，東海大学高輪キャンパス（東京都港区）で開催した．747 名の参加があり，前大会に次ぐ盛況な大会となった．総講演件数 411 件，うちシンポジウムは過去最高の 14 テーマ 106 件の講演が組まれた．また，本大会より初めてポスターセッションが設けられ 41 件の発表があった．

2.5 国際交流

Optics&Photonics International Congress(OPIC) 2018 をパシフィコ横浜会議センター（横浜市）にて 4 月 23 日～27 日に開催した．また、レーザー研究の国際的振興のため，欧米，およびアジア・太平洋地区の関連学協会との研究交流を推進した．

2.6 調査研究

CLEO2018 等各種国際会議に参加する会員からの情報収集により，レーザー技術および関連技術に関する海外調査を実施し，その結果を会誌「レーザー研究」46 巻 9 号等に掲載した．

2.7 レーザーセミナー

レーザー技術の基盤の拡大と普及を目指して下記セミナーを開催した．

(1) レーザー特別セミナー

本技術セミナーは，2018 年 4 月 25 日～27 日に開催の“レーザーEXPO2018”に併設して，「レーザーの基礎に重点を置くとともに，レーザー応用技術，産業界への普及例，および最新の製品開発のトピックスまでを網羅した特別セミナーを開催した．

(2)レーザー普及セミナー

レーザー関連科学技術に関する基礎と最新動向に関するセミナーを，全国規模で展開すべく，支部主体の活動の中で開催している．今年度は 8 月 9 日～11 日に開催された中部支部主催の福井セミナーと共同開催で実施した．

(3)レーザー夏の学校（レーザー学会共主催，日本光学会協賛）

光・レーザー分野の研究に携わる学生及び若手研究者の交流，研究意識向上を目的として，10 月 6 日～7 日に第 25 回レーザー夏の学校が滋賀県高島市の白浜荘で開催された．京都大学化学研究所が幹事校を務め，当学会としても関西支部／中国・四国支部の連合による若手学術交流研究会との合同開催として，本行事を支援した．

2.8 展示会

(1) レーザーEXPO 2018

レーザー機器の展示会“レーザーEXPO2018”をパシフィコ横浜展示ホール（横浜市）にて 4 月 25 日～27 日に開催した．

(2) Laser Solutions 2019

第 39 回年次大会において，レーザー機器，書籍等の展示会“Laser Solutions 2019”を併催し，28 社の出展があった．

2.9 表彰，認定，賞推薦・助成推薦

(1) 表彰

第42回レーザー学会賞（業績賞・論文賞，業績賞・進歩賞，奨励賞），学術講演会第38回年次大会論文発表賞および学会活動に貢献のあった者の表彰を行った．これと併せて，レーザー関連技術及び事業において顕著な功績のあった者を表彰するレーザー学会産業賞の表彰を4月26日（木）に「レーザーEXPO2018」会場にて行った．

(2) **上級会員/フェロー認定**

平成 29 年度に申請のあった候補者は称号審査委員会で審査され，第 112 回理事会に諮られ，承認された．会員各位に関しては本人同意を得たのちに，フェローについては定時総会にて認定書授与を実施した．

◇第 4 回フェロー認定者：3 名,会誌およびホームページにて告知

◇第 4 回上級会員認定者：16 名,会誌およびホームページにて告知

(3) **賞推薦，助成推薦**

レーザー学会会員に各種学術賞，研究助成案件を広く案内し，研究業績から優れた成果を上げたと認められる方，および学会に対し貢献のあった方を学会として推薦し，今年度は以下の方が受賞した．

◇第 10 回泰山賞レーザー進歩賞：　米田仁紀氏「高輝度 X 線レーザー科学の開拓」

野田　進氏「フォトニック結晶レーザーの発明とその産業展開」

2.10 支部活動の展開

支部活動の活性化による地域の状況に応じた会勢拡張と位置付けて，国内 6 支部にて，地域の会員へのレーザー関連学術情報提供サービス推進のため，単独および他学会支部との共催によるセミナー，研究会，講演会開催，情報交換，支部表彰等の活動を推進した．

2.11 関連学協会等との連携および協力

国内他学会，研究団体および関連業界との共催，協賛，後援による研究会，講演会等の開催を通じて，関係団体との連携，協力を推進した．特に日本光学会とジョイントシンポジウムを相互の年次大会で開催した．